

令和7年度第1回大津市歴史博物館協議会  
協議会資料

令和8年3月

大津市歴史博物館

## 〔議題1〕 大津市歴史博物館の基本的運営方針に基づく令和7年度の事業結果について

〔基本的運営方針1〕 地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る

- ・活動目標(1) 資料の調査収集・研究活動の推進
- ・活動目標(2) 調査情報のデータ化と収蔵資料の充実
- ・活動目標(3) 地域資料の保存、活用に向けた情報の共有化と学習支援の推進

【1-1】博物館資料の収蔵状況（収集資料件数・新収蔵資料）	… 1
【1-2】未指定文化財調査事業の進捗状況	… 7
【1-3】資料調査の実施状況	… 9
【1-4】大津市歴史博物館調査報告書の発行	… 10

〔基本的運営方針2〕 あらゆる世代・地域に対し、歴史情報の共有化に向けた情報発信を行う

- ・活動目標(1) 常設展示の充実
- ・活動目標(2) 企画展示の充実
- ・活動目標(3) 子ども・若者に対する学習支援の推進
- ・活動目標(4) 幅広い世代に向けた積極的な情報発信

【2-1】常設展示観覧者数	… 11
【2-2】企画展「瀬田国民学校絵日記」	… 12
【2-3】企画展「れきはくの大津絵」	… 16
【2-4】れきはく講座等の実施状況	… 20
【2-5】講座以外の普及活動	… 21
【2-6】市内小中学校等による博物館利用状況	… 25
【2-7】情報発信（広報・SNS）の状況	… 27

〔基本的運営方針3〕 大津市の歴史と文化の普及に携わるさまざまな組織の活動と連携し、支援体制を築き、歴史情報のセンターとしての役割を担う

- ・活動目標(1) 大津市各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携
- ・活動目標(2) 歴史と文化情報のセンターとしての役割を担う

【3-1】講師・調査派遣等の状況	… 29
【3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況	… 31
【3-3】貸しギャラリーの利用状況	… 33

## 〔議題2〕 令和8年度の事業計画について

【資料1】事業概要	… 34
【資料2】主な事業	… 35

〔参考1〕大津市歴史博物館の概要について	… 38
----------------------	------

〔議題1〕 大津市歴史博物館の基本的運営方針に基づく令和7年度の事業結果について

【1-1】 博物館資料の収蔵状況

◇ 収集資料件数

	購 入	受 贈	受 託	合 計
絵 画	182件 (+5件)	75件 (+1件)	249件 (-6件)	506件 (±0件)
彫 刻	1件	1件	54件 (+7件)	56件 (+7件)
工 芸	40件	40件	50件 (+2件)	130件 (+2件)
書 跡	28件	21件	42件 (+1件)	91件 (+1件)
古 文 書	29件 (+1件)	31件 (+2件)	79件 (+1件)	139件 (+4件)
考 古	0件	5件	11件 (-1件)	16件 (-1件)
歴 史	37件	236件 (+7件)	85件 (+3件)	358件 (+10件)
民 俗	0件	22件	9件	31件
合 計	317件 (+6件)	431件 (+10件)	579件 (+7件)	1327件 (+23件)

(令和8年3月13日現在) (※減少は寄託品の返却、寄託品の受贈等による)

## ◇新収蔵資料（令和7年度収集資料）

（第1回）令和7年8月22日答申

（第2回）令和8年3月11日答申（予定）

### <購入>

	種別	名称	員数
1（第1回）	絵画	大津絵 鬼の行水	1枚
2（第1回）	絵画	大津絵 外法と大黒の相撲	1幅
3（第1回）	絵画	近江八景 三井の晩鐘 勝川春章画	1枚
4（第2回）	絵画	近江八景 堅田落雁 歌川国虎画	1枚
5（第2回）	絵画	近江八景 粟津晴嵐 歌川国虎画	1枚
6（R6第2回審査）	古文書	高橋家文書	一括

### <受贈>

	種別	名称	員数
1（第1回）	絵画	李鉄拐・蝦蟇仙人図、文人幽居山水図 紀楳亭筆	1基
2（第1回）	歴史資料	大津町絵図	1隻
3（第1回）	歴史資料	江若鉄道等案内資料	7点
4（第1回）	歴史資料	中島省三氏撮影資料	一括
5（第1回）	歴史資料	ひわこ国体法被	1枚
6（第2回）	歴史資料	了徳町地蔵盆関係資料	一括
7（第2回）	歴史資料	戦時代用品資料（KINコレクション）	一括
8（第2回）	歴史資料	ひわこ国体資料	一括
9（第2回）	古文書	膳所藩士齋藤家文書	一括
10（第2回）	古文書	下平蔵町旧蔵文書	一括

### <購入>

**購入1 絵画 大津絵 鬼の行水 江戸時代 1枚**

どんなにきれい好きで身体の垢を落としても、心の垢を落とさずば、地獄へと落ちるとい  
う風刺の画題。本作は、未表装で退色もなく、店で販売されていた当時の状態や実寸を示す  
作例である。民藝運動で注目された大津絵は、そのほとんどが表装されている。裁  
断や裂の付廻して画面が小さくなった大津絵が大半を占める現状にあって希少な作例である。

**購入2 絵画 大津絵 外法と大黒の相撲 江戸時代 1幅**

安永～寛政年間に制作された道歌入りの半紙一枚判大津絵。この画題は当初、奴の相撲で  
あったが、石門心学の教訓を伝えるため外法と大黒に置き換えられた。即ち、健康長寿と財

福を共に追及しても、引き倒されるのは健康長寿（外法）だという教訓が詠まれている。

**購入3 絵画 近江八景 三井の晩鐘 勝川春章画 江戸時代 1枚**

---

令和6年度に購入した勝川春章（1726・1743～1793）の近江八景4点（石山の秋月、瀬田の夕照、粟津の晴嵐、堅田の落雁）と一具の作例。追加で購入し、情景の不足を補った。

**購入4 近江八景 堅田落雁 歌川国虎画 江戸時代 1枚**

**購入5 近江八景 堅田落雁 歌川国虎画 江戸時代 1枚**

---

歌川国虎（生没年不詳）による近江八景。国虎は、独自の洋風表現で知られた浮世絵師で、本作は存在を知られていない新出の作例。

**購入6 古文書 膳所藩士高橋家文書 江戸時代 一括**

---

膳所藩士高橋家に伝来した文書群。およそ江戸時代中後期～明治初期の文書・記録で構成され、（1）御城米関係、御蔵役勤関係、（2）土砂留奉行関連文書、（3）膳所藩飛地（河内国）関係、（4）京都火消役関係史料、（5）道中記関係、（6）教養書、歌関係に大別できる。

**<受 贈>**

**受贈1 絵画 李鉄拐・蝦蟇仙人図、文人幽居山水図 紀楳亭筆 江戸時代 1基**

---

与謝蕪村の弟子、紀楳亭（1734～1810）による絹本淡彩の大画面2面を貼り付けた衝立。仙人図には、彼が好んで描いたコミカルな図像による人物表現がみられる。また、《文人幽居山水図》には、寛政4年（1791）の年紀が入っているため、楳亭作例の基準作となる。

**受贈2 歴史資料 大津町絵図 江戸時代 1隻**

---

江戸時代の大津町を描いた絵図。近世都市としての大津町を描いた同構図の絵図は、いくつかの系統に分かれ作成されており、大津町絵図の書写系統を考える上でも貴重な情報を有する。

**受贈3 歴史資料 江若鉄道等案内資料 昭和時代（戦前） 7点**

---

江若鉄道を中心とした沿線案内。昭和4年頃のものが多く、そのうち琵琶湖近江八景遊覧案内には、所有者の名前（森地勘治）が記されている。昭和初年の江若鉄道は、路線が順次北へと延伸する段階にあたり、登山やスキー、修学旅行向けなど、様々な切り口で観光客の誘客に取り組んでいた様子が垣間見える。

**受贈4 歴史資料 中島省三氏撮影資料 昭和時代（戦後）～平成時代 一括**

---

市内在住の映像作家である中島省三氏が撮影した写真およびフィルム。昭和30年代から平成にかけて撮影された市内の様子や琵琶湖の風景が記録されている。特に8ミリ（一部16ミリ）フィルムは、毎日マラソンに出走するアベベ選手や浜大津での蒸気機関車の走行風景、びわ湖大博覧会会場に着陸した飛行船など、貴重な映像が多く含まれている。

---

**受贈 5 歴史資料**                      **びわこ国体法被**                      **昭和時代（戦後）**                      **1枚**

---

昭和 56 年（1981）開催のびわこ国体（第 36 回国民体育大会）に招待された、中国体育協会の来賓（夏翔氏）が受け取り、保管していた法被。

---

**受贈 6 歴史資料**                      **了徳町地蔵盆関係資料**                      **江戸時代～昭和時代（戦前）**                      **一括**

---

大津町の了徳町で保管・使用されていた地蔵盆関係の資料。黄檗宗僧による延宝元年（1673）の銘のある地蔵菩薩の掛け軸（摺物）や木製の厨子（近代以降）があり、また、地蔵盆を開催していた同町子供会「双葉会」の昭和 30 年代からの記録ノートも含まれている。大津町の地蔵盆の開催と、当時の町や大人や子供たちの関わりの様子がわかる。

---

**受贈 7 歴史資料**                      **戦時代用品資料（KIN コレクション）**                      **昭和時代（戦前）**                      **一括**

---

戦時中、金属製品に代わり生産された陶磁器製代用品の個人コレクション。総数約 1,900 点。骨董市やネットオークションで買い集めたもので個別の来歴は不明だが、主要な代用品を網羅しており、統制番号や生産地がわかるものも含まれる。戦時下の暮らしを語る資料として展示や教育普及での活用が期待できる。

---

**受贈 8 歴史資料**                      **びわこ国体資料**                      **昭和時代**                      **一括**

---

昭和 56 年に開催されたびわこ国体のポスターや写真、当時の大会関係者が大切に保管していたもの。

---

**受贈 9 古文書**                      **膳所藩士齋藤家文書**                      **江戸時代～昭和時代（戦後）**                      **一括**

---

膳所藩士齋藤家に伝来した古文書群。同家は、膳所藩の中で賄方（料理関係）を務めていたこともあり、由来書に加えてほかに献立や料理関係資料も含まれている。また、近世史料だけでなく、昭和前期の家関係の資料があり、幕末・明治期の膳所藩士の家がたどった歴史を知ることができ貴重なもの。

---

**受贈 10 古文書**                      **下平蔵町旧蔵文書**                      **江戸時代～昭和時代（戦前）**                      **一括**

---

大津町のうち下平蔵町に伝わった町共有文書と、平田家（材木商）からなる資料群。おそらく平田家が、明治時代以降、戸長を務めていたことから、江戸時代からの下平蔵町共有文書が含まれていると考えられる。特に宗門改め帳や天保 12 年（1841）以降の「記録帳」（留帳）は、江戸時代後期の町政や町の動きを知る上で貴重な情報を有する。

(令和7年度収集資料画像写真)

<購入>



購入1 大津絵  
鬼の行水  
江戸時代 1枚



購入2 大津絵  
外法と大黒の相撲  
江戸時代 1幅



購入3 近江八景 三井の晩鐘  
勝川春章画  
江戸時代 1枚



購入4 近江八景 栗津晴嵐  
歌川国虎画  
江戸時代 1枚



購入5 近江八景 堅田落雁  
歌川国虎画  
江戸時代 1枚

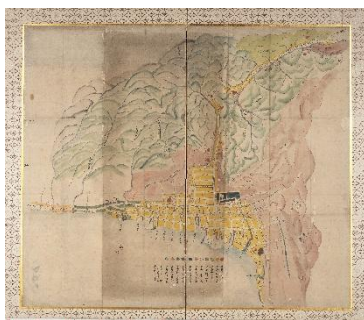


購入6 膳所藩士高橋家文書  
江戸時代 一括

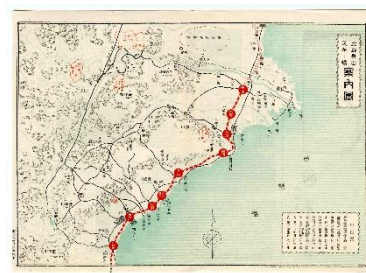
<受 贈>



受贈1 李鉄拐・蝦蟇仙人図、  
文人幽居山水図  
紀楳亭筆 江戸時代 1基



受贈2 大津町絵図  
江戸時代 1隻



受贈3 江若鉄道等案内資料  
昭和(戦前) 7点



受贈4 中島省三氏撮影資料  
昭和時代(戦後)～平成時代  
一括



受贈5 びわこ国体法被  
昭和時代(戦後) 1枚



受贈6 了徳町地蔵盆関係資料  
江戸時代～昭和時代(戦前) 一括



受贈7 戦時代用品資料  
(KIN コレクション)  
昭和(戦前) 一括



受贈8 びわこ国体資料  
昭和時代(戦後) 一括



受贈9 膳所藩士齋藤家文書  
江戸時代～昭和時代(戦後)  
一括



受贈10 下平蔵町旧蔵文書  
江戸時代～昭和時代(戦前)  
一括

## 【1-2】未指定文化財調査事業の進捗状況

本市には、国・県・市から指定を受けた文化財が数多くあるが、未だ把握できていない未指定の文化財も多く残されている。令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、歴史文化の保存に向けた基本方針のなかで、市民や市民団体、専門家、関係機関、行政等の協働による歴史文化遺産の調査を推進することが挙げられた。博物館ではこれまで展覧会や地元の要望等にあわせてこうした調査を行ってきたが、生活様式の変化や後継者不足、管理体制の問題などから、近年存続の危機に瀕している歴史文化遺産が多くなっていることをふまえ、今後は主体的な調査研究に取り組み、所有者や地域とのつながり、専門家や関係機関、行政などとの協働を取り入れながら様々なテーマで調査を行い、その成果を還元する。

令和7年度は、令和6年度から始まった調査について継続して実施した。

### ◇研究テーマ

#### ①【大津の食文化資料調査プロジェクト】

大津市内の食文化や産業に関連する資料の総合調査。大津市内の食に関する企業等に保存されている歴史資料（古文書・近代以降のパンフレットや関連資料、制作道具等）を総合的に調査し、本市の食文化の一端を明らかにする。まずは、大津市史等で資料の所在が確認できている、和菓子と酒造に関する調査から始めた。

令和7年度は、引き続き立命館大学食マネジメント学部の鎌谷かおる研究室と協力体制のもとで、市内に所在する酒造関係資料の翻刻作業を行なった。

#### ②【市内寺社未指定文化財調査】

大津市は、京都市や奈良市に次いで全国で3番目に指定文化財の件数が多く、このうち9割以上を市内の寺社が保有している。市内には数多くの寺社が所在しているが、未調査の社寺が多くあり、文化財的価値がある宝物が眠っていることが予想される。歴史博物館では、文化財所有者による保存や防犯等に関する相談も近年多くなっていることから、彫刻、絵画、工芸品、聖教など各分野による未指定文化財の総合的調査を計画的に行っていく。

本年度は、比叡山延暦寺と浄土真宗系、石山寺を中心にして、下記の通り22か所、56回の調査を行った。

訪問場所	天台宗	天台宗寺門派	天台真盛宗	浄土真宗本願寺派	真宗大谷派
場所（回数）	3か所（17回）	1か所（3回）	3か所（3回）	6か所（10回）	2か所（3回）
訪問場所	石山寺	神社	その他		
場所（回数）	11回	1か所（1回）	5か所（8回）		

調査では、今まで知られていなかった平安、鎌倉時代の仏像や、中世に遡る仏画、その他文化財的価値のある宝物を多く確認した。また、昨年度からは、ファイバースコープを用いた仏像内部の撮影を行っている。さらに、昨年度に引き続き彫刻に関する報告書を作成し『大津の彫刻2 石山寺1』として刊行する。

### ③【大津町絵図プロジェクト】

江戸時代～明治時代の大津町（現在の中心市街地）を描く絵図「大津町絵図」は、全国の関係機関に収蔵されている。これは、かつて大津町に蔵屋敷・蔵元を設置した大名・旗本・寺社ら領主が、都市空間把握のために作成したと考えられるもので、藩政史料などのアーカイブや城下町図集などに多く残されている。本調査研究では、全国に所在する大津町絵図の調査とデジタルデータの収集を通じ、①江戸時代～明治時代の大津町の都市景観の把握のための資料として「大津町絵図データベース」を作成し（情報蓄積）、②許諾を得たものを順次当館HP古地図データベースにおいて、大津町の都市空間の変遷検討のための基礎データとして広く公開する（すでに各機関で公開されているものはリンクなど）。そして、③時宜に応じて、大津町絵図を紹介する展覧会を行う。

令和7年度は、未撮影の当館蔵の大津町各町絵図を含めた12点の高精細写真撮影を実施し、大津町絵図関係のデータを収集することができた。

### ④【未指定文化財調査報告書発刊事業】

令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用の仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられた。本事業は、古文書・歴史資料について、市民参加を得て史料集を発刊、あわせてHPでの公表を行う。また、寺社の未指定文化財調査の成果（仏像）を刊行していく予定である。

令和7年度は『大津百艘船 6』1冊、『大津の彫刻2 石山寺1』の2冊を刊行した。

### ⑤【館蔵品や未指定文化財の燻蒸、修理】

未指定文化財調査等で発見、確認された文化財の保全をするために年1回の燻蒸を行った。令和7年度は、春季展覧会関連と合わせて、調査借用による未指定文化財の燻蒸を行った。また、文化財修復については、館蔵品の大津市指定文化財「膳所総絵図」の修復を現在行っており、年度末で修理が完了する予定である。

### ⑥【古文書・歴史資料整理・調査事業】

大津市内に伝来している古文書のうち、量が多く重要なものについて、大学と共同で調査を行っている。令和7年度は引き続き、当館寄託の膳所中村家文書（約23箱）と伊香立の龍家文書（約10箱分）について、佛教大学と京都府立大学と共同調査を行った。

### 【1-3】資料調査の実施状況（令和7年度）

本館では、継続的な資料調査の他に、他機関・専門家等との合同による資料調査を行っている（継続も含む）。

#### （1）科学研究費補助事業、大学・研究機関への協力・共同調査

- ・基盤研究B「越境する教義問答－東アジア仏教における国際的な相互交流－」（課題番号20H01186：代表者大谷由香〔龍谷大学〕令和2～7年）

上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する聖衆来迎寺や法明院、西教寺に伝来する聖教の調査研究を実施。

- ・基盤研究C「園城寺所蔵中世天台関係聖教の調査による天台談義書ネットワークの解明」（課題番号22K00299：代表者渡辺麻里子〔大正大学〕令和4～8年）

#### （2）その他の調査

- ・歴史博物館れきはく講座受講者で、古文書読解を目的とする有志で結成された研究会と、館蔵文書・関係文書の整理・解読を進めている。（平成25年～）

## 【1-4】 大津市歴史博物館調査報告書の発行

令和元年10月に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用のための仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられている。本事業は市民参加による調査・研究の取り組みに資するものと考え、その成果物の発行は、市民参加による研究活動の成果であるとともに、大津の歴史研究の基礎資料として活用できるものである。また、本館では実施した未指定文化財調査の成果も、同報告書として刊行し、県内図書館・研究機関等に配布、あるいは史料集全文を本館ホームページで公開している。

令和7年度は、市民グループ（大津古文書輪読会）との共同で古文書を解読した史料集（1冊）を発行した。さらに、未指定文化財調査関連報告として、「大津の彫刻2 石山寺1」を発行した。

[令和7年度発行]

(1) 『大津市歴史博物館調査報告書 12 大津百艘船万留帳6』

- 重要文化財「大津百艘船関係資料」のうち「万留帳」の文化9（1812）～同11年（1814）の3年分の史料集1冊。江戸時代に琵琶湖水運の中心的役割を担った大津百艘船が書き継いだ留帳で、大津町の様子や琵琶湖水運の実態に迫る記録。

(2) 『大津市歴史博物館調査報告書 13 大津の彫刻2 石山寺1』

- 石山寺に伝来する彫刻計19件について、全方向からの鮮明なカラー写真と詳細な調書・解説を掲載し、関連する文化財や所蔵先の寺社史についても解説で紹介した。また、金銅仏については、藤岡穰氏（大阪大学教授）、中田愛乃氏（大阪大学人文学研究科博士後期課程）より、最新の科学調査に基づく知見をご寄稿いただいた。

※令和8年度は、引き続き石山寺に伝来した彫刻についての調査報告書を作成予定。

## 【2-1】 常設展示観覧者数（令和7年4月～令和8年2月）

（単位：人）

	個人				団体				市内障がい者等	歴博カード会員	減免・招待	計	R6	R5
	一般	市内65歳以上	高大	小中	一般	市内65歳以上	高大	小中					同月	同月
4月	464	34	22	26	132	13	104	0	20	70	304	1,189	2,651	1,770
5月	415	16	20	10	598	6	35	0	21	89	59	1,269	4,597	1,421
6月	433	18	34	13	117	11	16	0	12	45	78	777	2,055	826
7月	470	23	26	93	168	43	70	0	15	159	188	1,255	3,276	1,431
8月	852	7	75	323	309	170	25	82	56	157	308	2,364	5,712	1,642
9月	367	38	38	16	246	17	1	0	29	191	47	990	2,487	1,000
10月	912	20	45	31	306	94	4	38	40	286	503	2,279	4,190	1,765
11月	753	19	43	46	428	68	48	0	99	221	927	2,652	6,214	2,417
12月	308	47	45	22	245	10	0	0	20	73	65	835	1,939	0
1月	346	80	42	52	204	30	2	0	43	124	155	1,078	1,644	2,153
2月	367	46	38	55	130	20	1	0	40	131	168	996	232	2,553
3月	37	6	0	0	9	0	0	0	2	30	0	84	893	2,447
計	5,687	348	428	687	2,883	482	306	120	395	1,546	2,802	15,684	34,997	16,978

※合計は3月分を除く

対前年比  
（3月分を除く）

-19,313

### 【参考】 常設展示観覧料

個人 一般330円 高校生・大学生240円 小学生・中学生160円

団体 一般260円 高校生・大学生190円 小学生・中学生130円

※団体は15人以上。

※大津市内在住の65歳以上の人は、小中学生料金と同額。

※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者・要支援者及びその介護者1名は無料。

※歴博カード会員（一般2,000円 高大1,500円 小中1,000円）は記名本人のみ、登録から1年間有効で、常設展示ほか本館主催の企画展を何度でも観覧可能。

※ミニ企画展は、常設展示観覧料で観覧可能。

## 【2-2】第97回企画展「瀬田国民学校絵日記～戦時下の学校生活と子どもたち～」開催報告

- 1、会期 令和7年(2025)7月19日(土)～8月31日(日) [開館日数38日間]
- 2、会場 大津市歴史博物館 企画展示室A
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、後援 朝日新聞大津総局、e-radio エフエム滋賀、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般500円(400円)、高校生・大学生300円(240円)、小学生・中学生200円(160円)  
※( )内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 ・大津市指定文化財「瀬田国民学校絵日記 昭和十九年度五年智組」1件 188日分  
・関連資料14件
- 7、入館者数 2,457人(うち有料観覧者2,089人 無料観覧者368人)  
◇有料内訳 個人 一般:823人 高大生:68人 小中生:340人  
割引 一般:314人 高大生:76人 小中生:58人  
市内(65歳以上)割引:203人 障害者等割引:46人 歴博カード会員:161人

### 8、関連講座・イベント等

- [れきはく講座] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
7月26日(土) 14時～15時30分	「瀬田国民学校絵日記」を語る	樋爪修氏(元大津市歴史博物館長)、 千葉美香氏(偕成社刊『1944～1945年少 女たちの学級日誌 瀬田国民学校五年智 組』編集担当者)、 南大萱史料室員、本館学芸員	53人 (申込64人)
8月10日(日) 14時～15時30分	戦時下の暮らし～滋賀県平和祈念 館の資料をとおして～	日高昭子氏(滋賀県平和祈念館学芸員)	36人 (申込52人)
8月16日(日) 14時～15時30分	歴博の戦時資料にみる「戦争と大 津」 付：パンプキン爆弾と大津	樋爪修氏(元大津市歴史博物館長)	74人 (申込97人)

れきはく講座参加人数合計 163人

- [スライドトーク] ※事前申込不要。当日の企画展観覧券が必要。会場は博物館講堂。  
「瀬田国民学校絵日記」をはじめとした展示資料について、担当学芸員が解説。各回40分程度。
- [子ども向け展示ガイドツアー] ※定員各回20名(事前申込制)。当日の企画展観覧券が必要。  
展示資料、戦時中の暮らしについて、担当学芸員が子ども向けにわかりやすく解説する館内展示ガイドツアー。対象は小学校高学年くらい。親子連れでの参加も推奨。各回40分程度。

開催日時(スライドトーク)	参加人数	開催日時(展示ガイドツアー)	参加人数
8月7日(木) 14時～	15人	8月14日(木) 11時～/14時～	24人/15人
8月13日(木) 14時～	14人	8月23日(土) 11時～/14時～	7人/26人
8月28日(木) 14時～	10人		

スライドトーク参加人数合計 39人、子ども向け展示ガイドツアー参加人数合計 72人

● [ワークシート] 配布数 516 枚

オリジナルワークシート 1 種類 (A4 両面) を作成し、展示室入り口に設置した。参加記念として、絵日記をモチーフとした限定シールをプレゼントした。難易度は小学校高学年程度。

## 9、刊行物

解説パンフレット「瀬田国民学校絵日記 ～戦時下の学校生活と子どもたち～」(A4、16 頁)

製作数：5,000 冊 (来場者に無料配布)

## 10、展覧会の成果と課題

### 【内容面】

- 戦後 80 年の節目の時期に合わせて、令和 5 年度に保存修理が完了した市指定文化財「瀬田国民学校絵日記」188 日分の全点を公開した。
- 昭和 19 年度 (昭和 19 年 4 月～昭和 20 年 3 月) という戦時下の瀬田を子どもたちの目線で描いた絵日記全点を日付順に並べ、実物と合わせて現代仮名遣いなどに整えた書き起こし文を 1 点ずつに添えた。また、絵日記に描かれたトピックを解説したキャプションを適宜配置した。日付順に当時の状況を追うことで、時世の変化が読み取れるものとした。
- 本展にあたり、改めて当時の絵日記筆者の方への聞き取りをおこなうなど再調査を実施した。また、滋賀県平和祈念館などが過去におこなった聞き取り調査の記録を閲覧し、当時の状況を関係者が語った内容もキャプションに追加することで、絵日記に描かれたこと、戦時下では描けなかったことも含めて当時の状況を語るものとして展示することができた。
- 展示にあたり、長年地元で絵日記のパネル展を実施してきた南大萱資料室の協力を得て、本絵日記資料のこれまでの保管と展示の履歴についてもまとめることができた。

### 【広報・集客・販売面】

- チラシ 35,000 枚・ポスター 1,500 枚を作成し、通常通り市内施設や関係機関に配布掲示依頼をおこなったほか、市内小学生の全数分のチラシを各学校へ配送し、小中学生の来館増につながった。また、小学生の児童とともに家族で来館するようすが多くみられた。
- 企画展後、東京都の千葉美香氏より、教育現場などでの活用のため、2015 年に偕成社より刊行された書籍『1944～1945 年少女たちの学級日誌 瀬田国民学校五年智組』140 冊の寄贈を受けた。天津市内の小中学校、支所などに配付したことで、改めて本資料の内容を周知することができた。

## 11、アンケート結果 (抄) 全体回答者数 80 人 (コメント有 73 人、無 7 人)

### ◎感想・意見など (原則文面のまま)

- ・ 戦争では兵隊さんだけでなく、子供たちもみんな力をあわせていっしょうけん命生きていたことがわかりました。夜にも火を外に出してはいけない、食料は配給で満足するまでご飯が食べられないなど、だいぶん厳しい生活をしいられていたことがわかりました。この企画展を見て、もう二度と同じことが起こってはいけないとあらためて思いました。兵隊さんを見送る家族は、とても悲しかったらうなと思いました。(小学生)
- ・ 瀬田小学校の卒業生なので絵日記の存在は知っていたが、実物を見たのは初めて。当時の子供たちの考えがよく分かり、よい機会になりました。(20 代)
- ・ 現代の子どもたちと同じように、日常を楽しむ表現の中に突然あらわれる戦争に関する言葉が衝撃

的だった。子供にすりこまれた戦争への意欲がおそろしかった。一般の人々がどのように戦争へ組みこまれたかよく分かる良い展示だと思います。(30代)

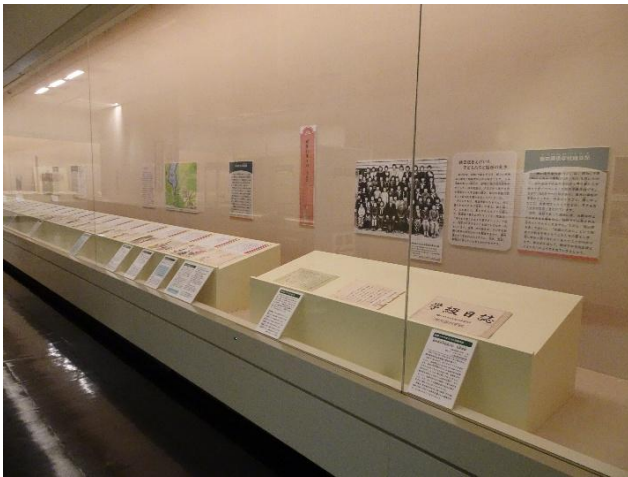
- ・ 娘(小3)が見たいと来てみたのですが、リアリティという面ではすごく価値のある展示だと思うので、また是非5年10年等のスパンで見たいです。絵日記を最後にした日、2013年の本音、すごく心に響きました。(30代)
- ・ 戦後80年、ニュースやテレビで様々なことを改めて考える機会がありますが、実際に当時の小学生が書いた絵日記やそれに関わる説明文、実物の展示は、より心に訴えかけるものがあると感じました。小学生の娘2人にとっては、戦争の話や戦争の話を聞く機会はほぼありません。特に、小6の娘にとっては考えること、思うことがたくさんあったようです。(40代)
- ・ 初めは戦時下をあまり感じさせなかったが19年末~20年初くらいから、日記の雰囲気ガラッと変わってくるのが印象的でした。(40代)
- ・ 戦局が悪化するにつれ、ことばづかいが殺ばつとしていくのが印象的でした。比較的穏やかに過ごせる環境にあっても上のように、戦争のおそろしさを実感しました。(50代)
- ・ 戦時下のリアルな子供達の状況、考えが伝わってきた。最後の“当時は伝えられなかった(書けなかった)こと”がより思いを強く感じた。(50代)
- ・ テレビ等では特に被害の大きかった地域が特集されることが多く、自分事として捉えるのが難しい部分もあるため、“瀬田”という非常に馴染みのある地域の記録を観ることができたのは本当に貴重でした。(50代)
- ・ 小学生なりに教師から教わったことに忠実に応えようとしているのがよくわかる。戦後になってその時に感じた疑問もようやく口に出せたようで、子どもの教育の大事さを感じた。当時の話の聞き書きもよかった。(60代)
- ・ 絵日記を残されていた西川先生のおかげで当時の生徒たちの本音と立前のギャップが本当に良くわかりました。できれば子ども達にこの展示を見せてあげたいと強く思いました。(60代)
- ・ 大津市内の小五~高3までの子どもたちに授業や夏休みのテーマとして無料で券を配布したり、親子で平和について語り合う日を設けてほしい。(60代)
- ・ 日記の分量が、大量なので、一回で見切れませんでした。期間中に再度と考えています。その中で、今回のパンフレットは大変有用で、有難いと思います。(70代)
- ・ 昭和15(1940年)生まれの人間なので子ども時代防くうごうに入った記憶も鮮明である。よい企画展をして頂き感謝します。(80代)

## 12、開催状況記録画像

### ●本展チラシ



● 「瀬田国民学校絵日記」の展示状況



● 関連資料の展示状況



代用品



戦中の紙芝居

● 講座・イベントの開催状況

7/26 「瀬田国民学校絵日記」を読む



8/14 午後 子供向け展示ガイドツアー



## 【2-3】第98回企画展「れきはくの大津絵」開催報告

- 1、会期 令和7年(2025)9月27日(土)～11月9日(日) [開館日数38日間]
- 2、会場 大津市歴史博物館 企画展示室A
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、後援 朝日新聞大津総局、e-radio エフエム滋賀、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般800円(640円)・高大生400円(320円)・小中生200円(160円)  
※( )内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 161件(うち借用資料16件)
- 7、入館者数 2,862人(うち有料観覧者2,350人 無料観覧者512人)  
◇有料内訳 個人 一般:1,205人 高大生:52人 小中生:42人  
割引 一般:529人 高大生:3人 小中生:0人  
市内(65歳以上)割引:160人 障害者等割引:46人 歴博カード会員:313人

### 8、関連講座・イベント等(計8回)

[記念講演会] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
10月18日(土) 14時～15時30分	大津絵と柳宗悦	白土慎太郎(日本民藝館学芸員)	74人 (申込115人)
10月25日(土) 14時～15時30分	大津絵を現代に伝える	高橋松山氏(五代目・大津絵師) 木津勝(本館副館長)	65人 (申込80人)
11月1日(土) 14時～15時30分	大津絵と信仰	クリストフ・マルケ氏 (フランス国立極東学院京都支部長・教授)	83人 (申込147人)

[れきはく講座] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
11月8日(土) 14時～15時30分	アメリカの美術館における大津絵	鈴木堅弘氏(京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター特別研究員)	71人 (申込104人)

[ワークショップ] ※定員25名(事前申込制)。1人500円。会場は博物館体験学習室。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
10月10日(日) 10時～12時	スタンプで知る大津絵キャラクターの アイテム	山田真実氏(成安造形大学 地域実践領域助教)	17人 (申込19人)
11月3日(月・祝) 10時～12時	江戸時代の技法を使って大津絵のカレ ンダーを作る	日本大津絵文化協会	19人 (申込53人)

[スライドトーク] ※事前申込不要(当日の企画展観覧者対象)。会場は講堂。

日時	主なトピック(当館ホームページで事前告知)	講師名	参加人数
10月22日(水) 14時～(45分程)	れきはくの大津絵-江戸前期から幕末まで	横谷賢一郎(本館学芸員)	34人
10月31日(水) 14時～(45分程)	近代のみやげ物としての大津絵	木津勝(本館副館長)	32人

◇講座・イベント参加人数合計：395人

(れきはく講座：計293人、ワークショップ：計36人、スライドトーク：計66人)

[ワークシート]

展示内容に合わせたオリジナルワークシートを作成し、受付にて配布。参加者には記念ステッカー(企画展オリジナル全22種類)をプレゼントした。

◇参加数 ワークシート……628枚

## 9、刊行物 図録『れきはくの天津絵』(A4判変型、144頁オールカラー)

製作数：2,000冊(寄贈用400冊を含む)、販売価格：2,000円(一般)1,800円(カード会員割引価格)

◇会期中の販売実績：412冊(一般：363冊、会員：49冊)

## 10、展覧会の成果と課題

【内容面】

1. 本館の収蔵品(一部借用資料)で、江戸期の天津絵師による天津絵96件を中心にすえつつ、天津絵の広がり又多角的な世界を紹介した。具体的には、①近世・近代の画家・文人が手がけた絵変わり天津絵、②天津絵と芸能の関わりを示す浮世絵・版本、③近代以降の天津絵再評価に関連する地元産品振興や出版物資料、⑤民藝運動における天津の関わり的一端(市内の天津絵研究者、片桐修三が柳宗悦の天津絵著作を支えた資料)など65件(100点あまり)を紹介した。
2. 例年、本館では、ミニ企画展「天津絵蔵出し展」において、天津絵の収蔵品を展示していたが、規模的には、20件から30件前後の展示が限界であった。本展によって、購入・受贈・受託で増加してきた本館の天津絵収蔵品の全体像(145件)を紹介できることとなった。
3. 平成18年(2006)刊行の企画展『天津絵の世界』図録が、長らく当館の収蔵品図録を兼ねていたが、同図録も品切れとなっていた。そのため、新たな本館の天津絵収蔵品図録を刊行するにあたり、単に冊子の編集・発行にとどまらず、その作業の成果を展覧会に仕立てたのが本展である。以上の経緯から、本図録は当初部数を2000冊とし、本館で恒常的に販売を行っていきたい。
4. 展覧会に伴う様々な工夫が好評であった。アンケートでは、ワークシートや天津絵マスコットによってより積極的な天津絵への理解につながったこと、また、天津絵のドット絵キャラクターによる館内装飾に好感度を示すコメントが目立った。これらは、来館者に企画展を楽しんでもらう要素として効果的であった。今後の展示でも継続していきたい。

【広報・集客・販売面】

- 通常のチラシ・ポスターの市内施設や関係機関への配布掲示依頼に加え、『芸術新潮』10月号においては1頁の紙面全体広告を掲出した。
- 本展は、例年より2週間前倒しの会期で、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の会期と重なる形で開催した。その点も影響してか、報道各社の取材は、国スポ会期終了後に入ってからとなり、来館者数にも影響したものと思われる。
- 図録販売数は比較的好調であり、会期38日間で412冊であった。

## 11、アンケート結果(抄) 全体回答者数46人(コメント有44人、無2人)

◎回答者の年齢(※内、小学生0人、中学生0人、高校生1人、大学生1人、その他の学生1人)

①～10代：0人 ②20代：0人 ③30代：4人 ④40代：9人 ⑤50代：10人

⑥60代：11人 ⑦70代：7人 ⑧80代：4人 ⑨90代以上：0人

◎天津市歴史博物館(企画展観覧)への来館回数(※無回答1人)

①初めて：19人 ②2回～5回目：16人 ③6～9回目：1人 ④10回目以上 10人

◎展示内容の満足度

[展示内容]

① 大変満足：42人 ②満足：4人 ③普通：0人 ④不満：0人 ⑤大変不満：0人

[説明文の内容や分かりやすさ] (※無回答2人)

①大変満足：33人 ②満足：8人 ③普通：3人 ④不満：0人 ⑤大変不満：0人

◎感想・意見など(基本的に文面のままとした)

内容	年齢
ドット絵がすごく可愛かったです！ワークシートは楽しみながら勉強になりました。説明もコミカルだけど分かりやすくて頭に入りやすかったです！とても楽しかったです!!ありがとうございました！個人的に90の、優しい目をした鬼念仏が好きです。	30代
たくさん作品があり、親しみやすいオリジナルキャラが解説してくれたり、親しみやすいステキな企画展でした！おみやげコーナー(当時の)も楽しかったです。大津絵、きになっていたの、しっかり展示を見れて楽しい時間でした。ワークシートもステキでした!!	40代
予想以上に作品の量も、解説もすばらしくて、学芸員さんのあたたかい心を感じました。もっとたくさんの人にみてもらって話題になっていい内容なのになあと思いました。工芸品のコーナーがかわいくてほしくなりました。	50代
同じ題材を並べて展示することで、時代ごとの描き方の変遷を知れたり、同時期に同じ道具を用いて製作されていることが分かったりなど、見比べながら大津絵を知ることができて楽しかったです。また、大津絵そのものだけでなく、大津絵を取り上げていた書籍やお土産品、大津絵を題材にした各絵師たちの作品も見ることができ、いかに多くの人々に愛され注目されてきたかを知れたのもよかったです。	60代
子どもから大人まで楽しめるようになっていてとても良かった。スタンプもワークシートも楽しんでいた。	30代
数年前に東京ステーションギャラリーで大津絵展を見て以来興味を持っていました。民芸人気も高まっていることもあって、大津絵の評価がもっと高くなってもよいのではないかと感じていました。今回展示されたもの以外にも良い作品もあるのでもっと色々見てみたいと思いました。大津絵への理解が深まった展示会でした。	60代
・郷土の文化として、今に続いている事が誇りに感じられた。・子供達にも伝えたい。・もっともっと、知らせて欲しい。・大津市の財産として、研究を重ね、深めて欲しい!	70代
思っていたよりも大規模で、体系的に大津絵の歴史がわかり、興味深かったです。歴博を見直しました。	50代
全体としては良かったのですが、字が小さく読めませんでした。ガラス面に貼りつけていただけたら良かったかも。	60代
出品資料が多数ということもあり、見ごたえがあった。館内での調査研究の蓄積がうかがえた。資料同士の間隔(幅)がせまいため、見づらさが多少あった。	60代
大津絵の発生から展開、各画題に持たされた意味、柳宗悦さんと片桐修三さん達による復興等、どれも楽しく勉強できました。RPG仕立てのワークシートは、会場で老若男女問わず楽しんでいるのが見られて、人がやっているのを見て他の人もやりだしたり、よりしっかり展示を見ていた点で、とても良かったと思いました。見に行ったら良かったです。	80代



画像左上：ポスター、右上：チラシ裏面、中：展示風景、左下：「大津絵しおり」押し重ねスタンプ、右下：展示パネル

【2-4】れきはく講座等の実施状況

	開催日	タイトル	講師	申込み	当選者	参加者
1	5月31日	木屋仙右衛門家文書の水戸藩関係史料を読む	五十嵐正也(当館学芸員)	115	115	86
2	7月12日	東アジアのなかの天津の仏像一館蔵・寄託の作例から	柘植健生(当館学芸員)	142	120	81
3	7月26日	『瀬田国民学校絵日記』を語る	登壇者：樋爪修氏(元本館長)、千葉美香氏(編集者)、南大直資料室員、司会：本館学芸員	64	64	53
4	8月7日	企画展「瀬田国民学校絵日記～戦時下の学校生活と子どもたち～」	福庭万里子(本館学芸員)	申込不要	申込不要	15
5	8月10日	戦時下の暮らし～滋賀県平和祈念館の資料をとおして～	日高昭子氏(滋賀県平和祈念館)	52	52	36
6	8月13日	企画展「瀬田国民学校絵日記～戦時下の学校生活と子どもたち～」	福庭万里子(本館学芸員)	申込不要	申込不要	14
7	8月14日	子ども向け展示ガイドツアー(午前の部)	福庭万里子(本館学芸員)	35	25	24
8	8月14日	子ども向け展示ガイドツアー(午後の部)	福庭万里子(本館学芸員)	21	21	15
9	8月16日	歴博の戦時資料に見る「大津と戦争」付：パンプキン爆弾と大津	樋爪修氏(元大津市歴史博物館長)	97	97	74
10	8月23日	子ども向け展示ガイドツアー(午前の部)	福庭万里子(本館学芸員)	7	7	7
11	8月23日	子ども向け展示ガイドツアー(午後の部)	福庭万里子(本館学芸員)	12	12	26
12	8月28日	企画展「瀬田国民学校絵日記～戦時下の学校生活と子どもたち～」	福庭万里子(本館学芸員)	申込不要	申込不要	10
13	9月7日	江戸時代の神領村文書を読む	高橋大樹氏(本館学芸員)	122	122	92
14	9月14日	江戸時代の神領村文書を読む	高橋大樹氏(本館学芸員)	128	128	90
15	9月18日	ミニ企画展「歌川広重の人物東海道」	奥芝理沙(本館学芸員)	申込不要	申込不要	6
16	9月23日	歌川広重《東海道五拾三次》を読み解く～大津を中心に	藤井康憲氏(佐川美術館 学芸員)	178	120	84
17	10月18日	大津絵と柳宗悦	白土慎太郎氏(日本民藝館学芸員)	115	115	74
18	10月19日	スタンプで知る、大津絵キャラクターのアイテム	山田真実氏(成安造形大学地域実践領域助教)	19	19	17
19	10月22日	れきはくの大津絵～江戸前期から幕末まで～	横谷賢一郎(本館学芸員)	申込不要	申込不要	34
20	10月25日	大津絵を現代に伝える	五代目高橋松山氏(大津絵師)、木津勝(本館副館長)	80	80	65
21	10月29日	近代のみやげ物としての大津絵	木津勝(本館副館長)	申込不要	申込不要	32
22	11月1日	大津絵と信仰	クリストフ・マルケ氏(フランス国立極東学院京都支部長・教授)	147	120	83
23	11月3日	江戸時代の技法を使って大津絵のカレンダーを作る	日本大津絵文化協会会員	53	28	19
24	11月8日	アメリカの美術館における大津絵	鈴木堅弘氏(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター特別研究員)	104	104	71
25	11月16日	羅漢図リレー講座	岩田朋子氏(龍谷ミュージアム教授)、西谷功氏(花園大学准教授)	95	95	65
26	11月22日	平安時代の仏像と往来する僧侶	森瑞穂(本館学芸員)	115	115	82
27	11月29日	第1回 『源氏物語』の基礎知識	家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム館長)	135	120	84
28	1月10日	第2回 逢坂の関の彼方此方(あなたこなた)	家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム館長)	135	120	72
29	2月14日	第3回 『源氏物語』と石山寺 一作者を育てた千年の読者たち	家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム館長)	135	120	68
30	1月30日	室町時代の“危険だけど面白い”消費生活へようこそ	貝英幸氏(佛教大学教授)	103	103	72
31	2月1日	ステんシルで大津絵を描いてみよう!	当館受付職員・横谷賢一郎(本館学芸員)	40	25	19
32	2月11日	「一輪の弊花、一片の枯葉」の美—近代日本のジョン・ラスキン受容とアーネスト・フェノロサ—	三木はるか氏(日本女子大学学術研究員、津田塾大学非常勤講師)	81	81	56
33	2月15日	【現地見学会】上品寺の涅槃会	鯨井清隆(本館学芸員)	84	30	26
34	2月21日	豊臣政権成立期の織田兄弟—信雄・信孝と近江—	西尾大樹氏(大東市立歴史民俗資料館学芸員)	189	120	95
35	2月22日	ウィリアム・ビゲローが愛した日本美術	井上瞳氏(愛知学院大学准教授)	84	84	65
36	2月28日	鎌倉幕府の誕生と鈴鹿関・逢坂関	東島誠氏(立命館大学教授)	177	120	88
37	3月1日	「豊臣兄弟」と京都東山大仏造営	萩原大輔氏(京都女子大学講師)	194	120	81
38	3月3日	第14回叡山學院聲明公演	叡山學院修学生	100	50	36
39	3月14日	盗まれる仏像	大河内智之氏(奈良大学教授)	87	87	
40	3月15日	【現地見学会】三井寺の涅槃会	鯨井清隆(本館学芸員)	90	30	
41	3月18日	【現地見学会】国宝・重要文化財指定記念 琵琶湖疎水を歩く	本館学芸員、本市文化財保護課職員			
42	3月20日	大津絵を描く基礎講座	佐藤実真氏(大津絵アーティスト)			
43	3月21日	仏さまを救い出せ!—令和6年能登半島地震文化財レスキューの現場から—	中井夏帆氏(石川県立歴史博物館学芸員)			
44	3月25日	【現地見学会】和邇・小野地域の寺社をめぐる	本館学芸員、本市文化財保護課職員			
45	3月28日	旧志賀町の宗教空間—仏像・神像が語る地域の歴史—	柘植健生(本館学芸員)			
46	3月29日	「オリジナル花押を作ろう」① 10:00~11:30	本館学芸員			
47	3月29日	「オリジナル花押を作ろう」② 13:30~15:00	本館学芸員			
			合計	3335	2769	2017

## 【2-5】講座以外の普及活動

### 【成安造形大学共同企画 夏休みおもちゃづくりワークショップ2025】

歴史博物館では、平成14年(2002)から毎年、小学校の夏休み時期に合わせて、「夏休みおもちゃづくりワークショップ」を開催している。これは、成安造形大学の協力を得た連携事業で、美術領域を専門とする大学生とともに、歴史文化をテーマとした子ども向けワークショップをおこなうものである。大学生は大学のプログラム授業として参加し、ワークショップ内容の考案、準備、当日の指導などを担当する。これまでに約650人の学生が参加してきた。本事業は、市内の小学生が親子で博物館を訪れるきっかけのひとつとなっており、令和6年度までに約7,700人以上(延べ人数)の子どもたちが参加してきた。令和7年度は、4種類のおもちゃを考案・作成し実施した。

#### 1. ワークショップ概要

開催期間 令和7年8月2日(土)～8月6日(水)[うち4日間]

開催時間 午前(10時～11時30分)／午後(13時30分～15時)

定員 各回20人

- 内容 ①とべ!カイツブリ!(ペットボトルで飛ばす自分だけのカイツブリ)  
 ②びわはな☆プラネタリウム(デコる!ひかる!きみだけのびわこ花火を作ろう☆)  
 ③パクッとドラゴンキャッチャー(びわ湖にやってくる悪い生き物をキャッチ!)  
 ④進め!しろへびさま!(巨大おり紙でくねくね動くへびを作ろう!)

#### 参加者数

開催日		おもちゃ名	申込数	当選数	参加者数
8月2日(土)	午前	①とべ!カイツブリ!	56	20	17
	午後		42	20	17
	午前	②びわはな☆プラネタリウム	135	20	18
	午後		108	21	21
8月3日(日)	午前	③パクッとドラゴンキャッチャー	53	20	19
	午後		44	20	20
	午前	④進め!しろへびさま!	53	20	17
	午後		48	20	18
8月5日(火)	午前	②びわはな☆プラネタリウム	181	20	12
	午後		114	20	20
	午前	③パクッとドラゴンキャッチャー	43	20	10
	午後		33	20	13
8月6日(水)	午前	①とべ!カイツブリ!	51	20	17
	午後		29	20	15
	午前	④進め!しろへびさま!	62	20	21
	午後		46	20	19
合計			1,098	321	<b>274</b>

(令和6年度 参加申込者のべ739人、参加299人)

### 3. 事業の概要と結果

- 毎年、常設展示や夏季企画展の内容をテーマとしたおもちゃ作りを実施している。4～5月に、担当する学生に向けて博物館事業の概要と常設展示の趣旨についてレクチャーした上で、資料提供を行い、学生たちがそれぞれの専門分野を活かしながらおもちゃを考案・制作した。今年度は、4班に分かれ、全て常設展示のテーマからおもちゃが考案された。
- 広報については、例年どおり当館ホームページとツイッター、広報おおつへの掲載、大津市内の小学校へ全児童数分のチラシを配布することで告知した。申込数については特に「びわはな☆プラネタリウム」が多く、期待度の高さがうかがわれた。また、平日と土曜・日曜の参加申込数の有意な差はなかった。
- ワークショップ終了後、夏休み期間中におもちゃの作り方レシピを博物館で配布し、ホームページでも公開した。
- 各回で保護者の方にアンケートをおこなったところ、いずれもおもちゃの内容・制作に関する満足度は高かった。また、大学生が指導するという点について、細かな指導ができたことや、大学生と接することができたことで新しい興味につながった点などで好評であった。

### 4. アンケート内容(自由記入欄コメント)一部抜粋]

#### [実施内容に関して]

説明書も分かりやすく、家に帰ってからも作りやすいと思いました。／暑くてなかなか外に出られないので、このような機会を頂けて良かったです。／ワークショップは何でも、遊びでもダンスでも直接習い事へ行けばいいのかもしれないですがまずは入り口になるものとして、やって頂けると親としてはありがたいです。近年、公園で友人たちとあそぶなど子ども同士の体験が少なくてこういう場がとても貴重であると感じます。／家族以外の人に触れる機会としても私は嬉しかったです。

#### [大学生の指導・交流に関して]

大学生のお兄さん、お姉さんにほめてもらいながら楽しく参加できたようです。／学生さんのアイデア満さいのワークショップありがとうございました。準備、後始末も細やかな配慮が感じられました。／1人で参加したけどお姉さんたちがやさしくはなしかけてくれて子どももさみしいと思わずできました。

#### [意見・要望]

日ごろの作品も紹介してもらえたら、もっと仲良くなれる気がしました。／自宅ではできないワークショップを沢山してもらえると嬉しいです。／せっかくスライドが使えるならおもちゃのモチーフにまつわる絵や、彫刻、かけじくなど美術品の紹介があっても、美術を知るきっかけになるし、作品のイメージに広がりをもてて、表現の参考になるかなと思った。／夏休み期間中の開催であれば、家の中で遊べる物が助かります。暑くて家の中で過ごす時間が長くなるので。／夏休みの土日は家族ですごすことや、他のイベントも多いので、平日にあるイベントは嬉しいです。平日昼からは(午前中は宿題が、、、)子供とやる事がなくひまな事が多いので助かりました。



①とべ！カイツブリ！



②びわはな☆プラネタリウム

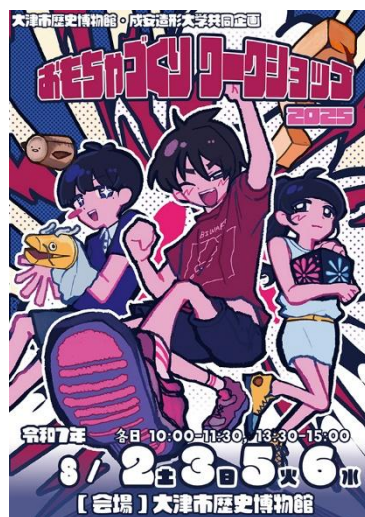


③パクっとドラゴンキャッチャー



④進め！しろへびさま！

チラシビジュアル



### 【ミュージアムグッズ制作・販売方法】

歴史博物館では、これまで館蔵品に関する絵葉書や一筆箋、クリアファイルなどを製作しており、売り切れた場合のグッズの追加製作のほか、新たなグッズの開発・製作を行っている。

令和7年度は、企画展「れきはくの大津絵」にあわせて、ふせん2種を作成した。また、長らく欠品状態であった大津絵のクリアファイルを再版した。



(いずれも1セット400円)



1枚100円

## 【2-6】市内小中学校等による博物館利用状況(令和7年4月～令和8年2月)

### 【市内所在の小中学校による常設展示観覧】

来館日	学校名(学年)	児童・生徒数	引率	備考
6月13日(金)	比叡山中学校	25名	1名	
7月3日(木)	滋賀大学教育学部附属中学校	5名	1名	
10月30日(木)	粟津中学校	102名	2名	班活動による見学
10月31日(金)	青山中学校	21名	—	班活動による見学
10月31日(金)	日吉中学校	9名	1名	班活動による見学
11月7日(金)	打出中学校	160名	2名	班活動による見学
11月7日(金)	北大路中学校	5名	—	班活動による見学
11月11日(火)	南郷中学校	10名	—	班活動による見学
1月28日(水)	青山小学校	19名	9名	

合計 372 人 (児童・生徒数 356 人、引率 16 人)

大津市歴史博物館条例(平成2年、条例第1号)第7条及び大津市歴史博物館の管理運営に関する規則(令和4年、規則第23号)第17条に基づき、市内所在の小中学校児童・生徒が教育課程で観覧する場合は減免対応。

### 【小中学校への出張授業対応】

市内小学校等からの依頼に応じて、随時学芸員による出張授業を実施。小学校6年生の総合学習、小学校3年生社会科「昔の暮らし」や「市のうつりかわり」に関する内容が中心。

実施日	学校名(学年)	備考
7月3日(木)	晴嵐小学校(6年生)	晴嵐学区の歴史
9月17日(水)	青山小学校(6年生)	平和学習 市内に残る戦争のあと
12月9日(火)	晴嵐小学校(6年生)	晴嵐歴史探訪(現地見学会)
12月18日(木)	青山小学校(6年生)	地租改正地図
1月28日(水)	晴嵐小学校(3年生)	昔の暮らし
2月5日(木)	南郷小学校(6年生)	南郷の歴史
2月6日(金)	仰木の里東小学校(3年生)	昔の暮らし
2月10日(火)	青山小学校(3年生)	市のうつりかわり、昔の暮らし
2月13日(金)	平野小学校(3年生)	市のうつりかわり
2月19日(木)	唐崎小学校(3年生)	市のうつりかわり
2月19日(木)	志賀小学校(3年生)	昔の暮らし

計8回 6年生5校、3年生6校

(参考) 令和6年度:7校

### 【中学生の職場体験】

大津市の「中学生チャレンジウィーク事業」として毎年実施されている職場体験について、市立中学校2年生の活動を各校からの依頼に応じて随時受け入れている。令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により事業自体が中止となっていたが、令和6年度より再開された。体験内容は、館内案内の後、受付業務の体験や、学芸員の指導により資料整理作業の体験など。

実施期間	学校名	参加数	備考
6月26～27日、7月1～2日	粟津中学校	3名	4日間
10月22～24日、28日	皇子山中学校	2名	4日間
11月26～28日	日吉中学校	3名	3日間
11月28日、12月2～4日	北大路中学校	3名	4日間
1月20～23日	唐崎中学校	3名	3日間
1月27～29日	打出中学校	3名	3日間

### 【その他の学校対応（通常の展示観覧目的以外のもの）】

実施日	学校名（学年）	参加数	備考
5月20日	奈良女子大学附属小学校 (5・6年生)		比叡山に関する講話

## 【2-7】情報発信(広報・SNS)の状況

### 1. プレスリリース(広報課を通じた記者発表)

発表日	件名
令和7年 4月2日	ミニ企画展「木屋仙右衛門家文書にみる大津の町人」の開催
4月16日	ロビー展「44年前のびわこ国体」の開催
5月8日	大津祭に関わる新資料の発見について
5月14日	琵琶湖疏水施設国宝、重要文化財指定記念パネル展示の開催
6月3日	ミニ企画展「館蔵・寄託の彫刻Ⅰ」の開催
7月23日	ミニ企画展「神領村文書を伝えていく」の開催
9月9日	ミニ企画展「歌川広重の人物東海道」の開催
12月2日	ミニ企画展「大津宿・街道・浮世絵」の開催
12月25日	ミニ企画展「大津祭の歴史と美」の開催

### 2. マスメディア等取材対応件数(令和8年1月末日現在)

取材内容	件数
展示関係	39
企画展「瀬田国民学校絵日記」	9
企画展「れきはくの大津絵」	6
ミニ企画展「木屋仙右衛門」	4
ミニ企画展「館蔵・寄託の彫刻Ⅰ」	2
ミニ企画展「歌川広重の人物東海道」	3
ミニ企画展「大津祭の歴史と美」	9
ロビー展「44年前のびわこ国体」	5
ロビー展「琵琶湖疏水施設国宝、重要文化財指定記念パネル展示」	1
その他(大津祭、パンプキン爆弾、大津事件、近江神宮等)	19
計	58

※取材を受けた時点でカウントしたもの。掲載に至らなかった取材を含む。

### 3. ホームページ・SNS等の公開状況

#### ◆ホームページ更新について [アドレス：<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>]

企画展、特別展示の詳細や主な展示作品については、各トピックについてnews頁を作成して情報を公開している。また、ホームページ更新のお知らせや学芸員視点での資料紹介などについてXやInstagramを活用している。貸しギャラリーやその他の開館情報については、ホームページ・X双方で告知するようにしている。

#### ◆オリジナル壁紙の公開・配付

令和3年1月から当館ホームページで公開している。年単位でテーマを変えており、令和3年は大津絵、令和4年は歌川広重作品、令和5年は花押、令和6年は源氏物語、令和7年はドット絵風大津絵だった。2026年は大河ドラマに合わせて豊臣秀吉・秀長兄弟を中心に、大津にゆかりのある秀吉家臣をモチーフにした「おさるのとよとみ」というオリジナルキャラクターにしている。パソコンやタブレット、スマートフォン向けとして各4種を用意している。また、壁紙にはカレンダーをつけたものもある。壁紙に用いられたモチーフへの理解を深めるため、壁紙のページに簡単な説明をつけている。

#### ◆大津市歴史博物館公式 X の更新状況

[アカウント名：otsu\_rekihaku URL：[https://x.com/otsu\\_rekihaku/](https://x.com/otsu_rekihaku/)]

運用方針 URL：<https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/sns/t/1519801599531.html>

2026年1月末日時点で総ポスト数2,061、フォロワー数3,546（2025年1月末日時点3,248）

#### ◆大津市歴史博物館公式 Instagram の更新状況

[アカウント名：otsu\_rekihaku URL：[www.instagram.com/otsu\\_rekihaku/](http://www.instagram.com/otsu_rekihaku/)]

運用方針 URL：<https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/sns/t/46614.html>

2026年1月末日時点で総投稿数841、フォロワー847（2025年1月末日時点632）

## 【3-1】講師・調査派遣等の状況（令和7年度）

### I 講師派遣

日付	内容	派遣依頼先
4月11日	仏教伝来の道	近江歴史回廊倶楽部
5月18日	大津祭の新発見資料について	大津祭曳山連盟
5月20日	琵琶湖・比叡山の歴史	奈良女子大学附属小学校
5月24日	大津まちなか大学大津祭学部 大津の町の歴史	大津祭曳山連盟
7月9日	近江のまつりの今とこれから	文化・経済フォーラム滋賀
7月12日	大津百町の歴史	日本建築家協会近畿支部
7月12日	景観クルーズ（唐崎、堅田、草津、矢橋説明）	大津市都市計画課 びわこ大津草津景観推進協議会連携事業
7月24日	地域の魅力ある財産を授業に活かすには 晴嵐学区に残る史跡、遺産を活用して（教員向け）	大津市晴嵐小学校
7月27日	歴史資料・古地図で読み解く橋本・神領の歴史	瀬田南歴史文化研究会
8月3日	オリジナル「花押」を作ろう！	大東市立歴史民俗資料館
8月22日	学校図書館の資料管理を学ぶⅡ 貴重図書管理とキュレーションの手法②	滋賀県高等学校等教育研究会 学校図書館研究部会
8月26日	指定文化財企画展示セミナー	文化庁
9月1日	京極高次一家と浅井家	浅井家顕彰会
9月11日	大津祭について	おやじのたまり場
9月21日	近世琵琶湖の水運支配—湖水船奉行と彦根藩—	彦根城博物館友の会
10月12日	比良山麓の魅力発見	木戸学区まちづくり協議会設立準備会
10月15日	大津まちなか大学大津百町ガイド学部 大津百町案内の極意	大津百町エリア部会、大津市
10月12日	古地図から読み解く伝統知・地域知	木戸学区まちづくり協議会設立準備会
10月25日	近江神宮と霧島神宮の造営からみる内務省様式の展開	明治神宮国際神道文化研究所
10月28日	江戸時代の天津町と天津浦	大津ロータリークラブ
11月2日	源氏物語と大津	瀬田北文化振興会
11月15日	瀬田国民学校絵日記	神領安養寺
11月29日	織豊政権と坂本城	大津市立図書館
11月12日	大津の歴史解説	福岡商工会議所食料・水産部会
12月18日	蘆花浅水荘について	膳所歴史サークル
2月3日 同5日	小中学校教員初任者研修	大津市教育センター
2月6日	秀吉・秀長兄弟と近江の城	大津商工会議所観光運輸部会
2月16日	大津市市政功労者の会冬季研修会	大津市市政功労者の会
2月26日	大友皇子と壬申の乱	近江歴史回廊倶楽部
3月19日	蘆花浅水荘の現地解説	膳所歴史サークル
3月24日	大津宮と壬申の乱	レイカディア大学サポートの会
3月28日	大津百町歴史魅力再発見講座	大津百町エリア部会

## 2 調査派遣等

4月22日	初夏の特別公開あお若葉の競演にかかる作品輸送と展示	園城寺
11月6日	秋の特別公開千手観音と二十八部衆にかかる作品輸送と展示	園城寺
12月24日	新年特別公開令和8年丙午年の守本尊勢至菩薩像にかかる作品輸送と展示	園城寺

## 3 委員等

- ・ 滋賀県博物館協議会 副会長、理事、研修委員、広報委員（滋賀県博物館協議会）
- ・ 大津市歴史的風致向上協議会 委員（大津市都市計画課）
- ・ 「大津百町百福物語」ブランド選考委員会 委員（大津商工会議所）
- ・ 収蔵品価格評価委員（滋賀県立陶芸の森陶芸館）
- ・ 清水寺史編纂委員会 委員（清水寺）
- ・ 総本山知恩院史料編纂所 編纂員（知恩院）

## 【3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況（令和7年度）

### ○愛荘町立歴史文化博物館

「木でつくる・木で遊ぶ・滋賀の木工展」

会期：令和7年6月14日～8月24日

- ・市指定有形民俗文化財 大津算盤関係資料 江戸時代 4点 個人蔵〔本館寄託〕
- ・大津算盤関係資料 江戸時代 2点 個人蔵〔本館寄託〕

### ○滋賀県立琵琶湖博物館

「川を描く、川をつくるー古地図で昔の堤をさぐるー」

会期：令和7年7月19日～11月24日

- ・瀬田川浚え絵図 江戸時代 1点 本館蔵
- ・村々普請所見分扣 江戸時代 1点 本館蔵
- ・牧村庄屋御山葉附請取状写 江戸時代 1点 上田上牧町共有文書〔本館寄託〕
- ・牧庄六ヶ村土砂留普請所之覚 江戸時代 1点 上田上牧町共有文書〔本館寄託〕
- ・栗太郡砂留御用掛村々土砂留普請手入等之儀書上帳写 江戸時代 1点  
上田上牧町共有文書〔本館寄託〕
- ・洪水につき損失田畑・関書上帳并普請願 江戸時代 1点  
上田上牧町共有文書〔本館寄託〕

### ○MIHO ミュージアム

「近江の名所」

会期：令和7年9月14日～12月15日

- ・市指定有形文化財 近江名所図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・日吉山王祭礼図 江戸時代 6曲1双 個人蔵〔本館寄託〕
- ・日吉山王祭礼図 江戸時代 6曲1隻 本館蔵
- ・近江八景画卷 桃田柳栄筆 江戸時代 1巻 本館蔵
- ・近江八景画卷 土佐光起筆 江戸時代 1巻 個人蔵〔本館寄託〕
- ・近江名所図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・近江名所図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・近江八景図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・近江八景図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・近江八景画卷 吉田元陳筆 江戸時代 1巻 個人蔵〔本館寄託〕
- ・近江八景・宇治川図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・青花琵琶湖八景図磁板 江戸時代 1枚 本館蔵
- ・近江八景時絵印籠 江戸時代 1合 本館蔵
- ・琵琶湖眺望真景図 江戸時代 1巻 本館蔵

### ○京都国立博物館

「宋元仏画ー蒼海（うみ）を越えたほとけたち」

会期：令和7年9月20日～11月16日

- ・重要文化財 六道絵 南宋時代 6幅 新知恩院蔵 [本館寄託]
- ・重要文化財 天台大師像 張思訓筆 南宋時代 1幅 西教寺蔵 [本館寄託]

○龍谷ミュージアム

「仏教と夢」

会期：令和7年9月20日～11月24日

- ・毘沙門天像 南北朝時代 1幅 実成坊蔵 [本館寄託]

○彦根城博物館

「大名とスポーツー武芸と遊興の祭典ー」

会期：令和7年9月27日～11月3日

- ・山岡景友像 江戸時代 1幅 本館蔵

○比叡山国宝殿

「仏教と子ども」

会期：令和7年10月11日～12月8日

- ・唐子図 江戸時代 1幅 金台院蔵 [本館寄託]
- ・青面金剛像 桃山時代 1軀 園城寺蔵 [本館寄託]
- ・文殊菩薩像 室町時代 1軀 園城寺蔵 [本館寄託]
- ・毘沙門天像 室町時代 1幅 不動寺蔵 [本館寄託]

○膳所歴史資料室

「膳所藩士中村家史料展」

会期：令和7年11月1日～11月9日

- ・中村家史料 江戸時代 13点 本館蔵

○滋賀県立安土城考古博物館

「近江一道が織りなす物語ー」

会期：令和8年2月14日～4月5日

- ・日吉山王祭礼図 江戸時代 6曲1双 本館蔵
- ・藤慶板 近江八景 江戸時代 8紙 本館蔵
- ・滋賀県湖東鉄道沿線風景図 明治時代 1巻 本館蔵
- ・俳画「風一過」 山元春拳筆 昭和時代 1幅 本館蔵
- ・近江八景蒔絵印籠 江戸時代 1点 本館蔵
- ・青花琵琶湖八景敷瓦 江戸時代 1枚 本館蔵
- ・大津絵人形（翁鶴堂製） 現代 10点 本館蔵
- ・東海道線大津京都間線路変更工事竣工記念写真帳 1冊 現代 本館蔵
- ・東海木曾両道中懐宝図鑑 江戸時代 1冊 本館蔵
- ・京津電車御案内 吉田初三郎画 昭和時代 1枚 本館蔵

○博物館資料の特別利用 68件（令和8年2月19日現在）

### 【3-3】貸しギャラリーの利用状況（令和6年4月～令和7年2月）

#### ① [企画展示室の貸出]

	展示期間	展覧会名	主催	観覧者数	展示室
1	4月3日～6日	第19回洋画作品展	油絵同好会「遊」	173	B
2	4月11日～13日	第38回全国シルバー書道展滋賀展	シルバー書道展滋賀展事務局	642	A
3	4月11日～13日	第20回滋賀書作家協会会員展	滋賀書作家協会	640	B
4	4月24日～27日	第10回土筆会展	土筆会	237	B
5	5月13日～18日	第37回美術サークル4.0展	美術サークル4.0	292	A
6	5月21日～25日	第41回滋賀水彩展	滋賀水彩画会事務局	357	B
7	5月23日～25日	第18回玄風書道会	玄風書道会	548	A
8	5月29日～6月1日	花寿会合同作品展	花寿会	316	B
9	6月3日～8日	第13回しがの風展	しがの風	636	A・B
10	6月20日～26日	第75回大津市美術展覧会	大津市湖都文化実行委員会	1,477	A・B
11	6月28日～7月4日	第48回大津市写真展覧会	大津市湖都文化実行委員会	767	A・B
12	7月19日～29日	令和7年度平和祈念展	大津市総務部総務課	456	B
13	8月1日～3日	キルト作品展示（福田元子Maikai Quilt+教室作品展）	マイカイキルト	328	B
14	9月13日～15日	第45回滋賀県書展	公益財団法人滋賀県書道協会	636	A・B
15	10月7日～13日	錦織美術倶楽部作品展	錦織美術倶楽部	570	B
16	10月28日～11月3日	令和7年度現代大津絵展	日本大津絵文化協会	751	B
17	11月19日～24日	2025CAF.Nびわこ展	CAF.Nびわこ展実行委員会	245	A・B
18	11月28日～30日	墨志会会員展	墨志会	567	A
19	12月3日～7日	浩玄會書展	浩玄會	1,012	A・B
20	12月10日～14日	第7回大津写真連盟 合同写真展覧会	大津写真連盟	355	B
21	12月12日～14日	大津市立幼稚園こども展	大津市福祉部子ども未来局幼保支援課	2,091	A
22	12月19～21日	大津市保育園・こども園園児作品展	大津市保育協議会	1,079	A
23	1月16日～20日	大津市・中学校児童生徒書き初め展	学校教育課	2,593	A・B
24	1月22日～28日	大津市特別支援学級・特別支援学校作品展	学校教育課	2,674	A・B
25	1月30日～2月3日	大津の子供総合美術展	学校教育課	2,198	A・B
26	2月7日～11日	第65回滋賀県書き初め展覧会	公益財団法人滋賀県書道協会	8,182	A・B
27	3月13日～15日	令和7年度滋賀県高等学校 書道科教員作品展	滋賀県立膳所高等学校 書道		B
28	3月20日～22日	キルトフープ パッチワーク作品展	キルトフープ		B
29	3月27日～29日	第23回膳所高校書道部書展「萌芽」	滋賀県立膳所高等学校書道部		B

合計 令和7年度 29回(見込み) 総観覧者数(※2月分まで) 29,822人

対前年度

[参考]	令和6年度	24回	総観覧者数	26,816人
	令和5年度	24回	総観覧者数	28,725人
	令和4年度	25回	総観覧者数	26,612人
	令和3年度	27回	総観覧者数	24,112人
	令和2年度	16回	総観覧者数	16,645人
	令和元年(平成31年)度	29回	総観覧者数	34,824人

## 〔議題3〕 令和8年度の事業計画について

### 資料1 事業概要

大津市歴史博物館は、平成2年（1990）の開館以来、企画展、常設展やれきはく講座の開催、ホームページや新資料発見に係る記者発表等によって、歴史情報の発信に積極的に取り組んできました。

令和8年度は、引き続き調査・研究などの博物館の基本的な機能を充実させるとともに、本市の歴史や文化資源をまちづくりや地域づくりに生かせるよう活動してまいります。

#### ◆調査・収集事業の強化 基本的運営方針1 一活動目標（3）、基本的運営方針3 一活動目標（2）

- **歴史文化遺産の調査の実施** 令和4年度に始めた未指定文化財調査事業を継続的に行います。また、文化財保護課との連携によって、和邇祭の総合調査を行うなど、活動の幅を広げていきます。

#### ◆常設展示の充実 基本的運営方針2 一活動目標（1）

- **ミニ企画展** 琵琶湖疏水の国宝指定に関連した「琵琶湖疏水と大津」や館蔵資料を改めて整理するなかで成果の一部を紹介する「館蔵・寄託の彫刻Ⅱ」、「葉屋傳兵衛家文書を紐解く」展、また、令和7年度に新たに収蔵品となった陶磁製代用品の「戦時中の代用品」展など4展のミニ企画展を行う予定です。
- **ロビーの活用** 無料スペースであるロビーの展示活用を推進します。坂本城跡の国史跡指定にあわせた坂本城跡発掘調査成果の展示など、文化財調査の速報的な展示や当館所蔵の資料紹介のミニコーナーなどを計画しています。

#### ◆企画展示の充実 基本的運営方針2 一活動目標（2）

- **企画展示事業** 大河ドラマ「豊臣兄弟」に関連して、織豊期の大津の歴史を紹介する「豊臣秀吉と大津」展、また大津市の文化財行政60年を振り返る「未来へつなぐ 大津のたから」展を予定しています。

#### ◆子ども・若者に対する学習支援 基本的運営方針2 一活動目標（3）

- **夏休みおもちゃづくりワークショップ** 毎年夏休み期間に成安造形大学と共同開催。
- **ワークショップ型れきはく講座** 大津絵や歴史工房のワークショップ

#### ◆幅広い世代に向けた積極的な情報発信 基本的運営方針2 一活動目標（4）

- **れきはく講座** 例年通りの約30回の開催を目指します。
- **インターネットの活用** ホームページやX（旧Twitter）、Instagramを活用して、自宅や学校等でも利用可能な情報を積極的に発信し、博物館資料や情報の利用の拡大につとめます。

#### ◆連携事業 基本的運営方針3 一活動目標（1）

- **市内大学、文化施設等との連携** 成安造形大学との共同事業である「おもちゃづくりワークショップ」をはじめとして、資料調査等を通じて様々な施設・団体との連携を図ります。

#### ◆歴史文化の情報センター 基本的運営方針3 一活動目標（2）

- **博物館資料のさらなる活用** 大津の歴史データベースの公開件数の増加や、資料目録等のインターネット上での公開に取り組めます。

## 資料2 主な事業

### 1. 企画展示

#### ◇第100回企画展

### 豊臣秀吉と大津

会期：令和8年(2026)7月18日(土)から8月30日(日)まで

観覧料：一般800円(640円)・高大生400円(320円)・小中生200円(160円)

会場：大津市歴史博物館 企画展示室A

豊臣秀吉は大津にゆかりの深い人物です。織田信長の家臣時代から大津の重要性を認識し、蔵を立てるなど物資中継点として活用しました。その後、坂本城を活用し、のちに大津城を築城しました。また、延暦寺を復興し、園城寺領を没収するなど、大津の寺社にも大きな影響を与えました。

本展では、豊臣秀吉と大津の関わりについて、坂本や大津といった拠点、寺社勢力、大津市域の村や地域を中心に、当時の資料をもとに紹介していきます。

#### ◇第101回企画展

### 未来へつなぐ 大津のたから—大津の文化財保護60年のあゆみ—

会期：令和8年(2026)10月10日(土)から11月23日(日)まで

観覧料：一般800円(640円)・高大生400円(320円)・小中生200円(160円)

会場：大津市歴史博物館 企画展示室A

市民憲章で「豊かな文化財をまもりましょう」とうたう大津市では、昭和38年(1963)に文化財保護条例を制定し、昭和40年(1965)から市として保護すべき文化財の指定を始めました。その総数は現在168件を数えます。近江大津宮に関連する寺院の出土品から、寺社に伝わる信仰の遺物、比叡山焼き討ちや大津事件など歴史上の重大事件の証拠、琵琶湖をめぐる様々な営みを伝える資料など、いずれも大津ならではの歴史や風土を示す大変貴重なものです。本展では、60年にわたる取り組みにより保護が図られてきた大津市の文化財を紹介すると共に、今後新たに保護すべきものとして、当館が進める未指定文化財調査事業の成果も併せてご紹介します。

### 2. ミニ企画展

#### ◇第195回 琵琶湖疏水と大津 令和8年4月21日(火)～5月31日(日)

明治23年(1890)に竣工した琵琶湖疏水は、水力発電や舟運、上水道、灌漑など様々な目的のために築かれました。その経路中の関連の施設は、当時の土木技術の粋を集めた記念碑的な構造物として、令和7年8月に国宝および重要文化財に指定されました。今回は、京都市の琵琶湖疏水記念館が所蔵する資料を中心に、特に大津市域に関連する内容について紹介します。

#### ◇第196回 館蔵・寄託の彫刻Ⅱ 令和8年6月2日(火)～7月20日(月・祝)

当館は、開館以来、大津の豊かな宗教文化と密接に関わる仏像や神像など彫刻の調査研究に取り組ん

できました。あわせて、古代から近世までに造られたバラエティに富む多数の彫刻を収蔵し、保存と普及啓発にも努めています。昨年のミニ企画展に引き続き、館藏品や寺社などからお預かりしている寄託品の彫刻を紹介します。

#### ◇第197回 戦時中の代用品 令和8年7月22日(水)～9月6日(日)

太平洋戦争中、兵器などに使う鉄や銅が不足すると、国は金属類回収令を出し、寺院の梵鐘や家庭の鍋などあらゆる金属類を供出させました。国民の生活では、金属製品の代わりに陶磁製や木製のものが増え、様々な生活用品の代用品が作られました。本展では、寄贈を受けた戦時中の陶磁製代用品コレクションを紹介し、戦時中の暮らしを見ていきます。

#### ◇第198回 葉屋傳兵衛家文書を紐解く 令和9年1月6日(火)～3月14日(日)

江戸時代、大津下小唐崎町で煙草屋・葉屋を営みながら、町年寄や京町組七組惣代などをつとめた葉屋傳兵衛家(茂呂家)には、400点を超える文書・記録が残されています。慶長年間以来、家の来歴や商売の盛衰、寺社への信仰や文化活動など、大津町を生きた町人の姿を知ることができます。家の歴史を紐解きながら、折り重なる大津町の歴史も古文書から紹介します。

### 3. 普及啓発事業

#### ◇ワークショップ

##### ・夏休みおもちゃづくりワークショップ(大津市歴史博物館・成安造形大学共同事業)

平成14年から、本館と成安造形大学では夏季の共同事業として「おもちゃづくりワークショップ」を開催してきました。小学生が博物館を訪れ、博物館の資料に親しみをもってもらう機会づくりとしておこなってきたものです。令和8年度は、常設展示または企画展示の内容をテーマにしたおもちゃキット制作に取り組む予定です。

##### ・ワークショップ型れきはく講座

簡易的なステンシルキットを使用した大津絵制作体験や、学芸員の指導の元に各自の「花押」づくりに取り組むワークショップなどを開催します。

#### ◇『大津の文学』の刊行

「文学のまち大津」のブランディングに関連して、『大津の文学』を改訂増補して発刊します。

### 4. 資料調査収集事業

#### ◇歴史文化魅力発見事業(旧未指定文化財調査事業)

日本で3番目に国指定文化財の件数が多い本市には、いまだ把握できていない文化財が数多く残されています。こうした未指定文化財をより計画的に調査研究し、地域においてその価値を共有するとともに、保存・活用におけた取り組みを行います。令和8年度も引き続き、大津の食文化に関する歴史の調査や市内の寺社への文化財調査、市民参加による古文書・歴史資料データベースの充実事業などを予定しています。

##### ①市内寺社未指定文化財調査

市内の約 450 か所の寺院と約 150 か所の神社に伝わる宝物を悉皆調査し、所在を把握します。

②大津の食文化資料調査プロジェクト

市内の食文化や産業に関する資料を、立命館大学食文化マネジメント学部との共同で総合調査します。

③未指定文化財調査報告書発刊事業

古文書輪読会などの市民グループの参加を得て資料を解読し、史料集を刊行し、ホームページで公開します。寺社の未指定文化財の調査報告書も刊行します。

- (1) 大津百艘船万留帳 (第7冊)
- (2) 滋賀県社寺建築関係資料目録集
- (3) 大津の彫刻 (2冊)
- (4) 伊香立南庄・龍家文書調査報告書
- (5) 大津酒造関係史料調査報告書

④館藏品や未指定文化財の修理保存

未指定文化財調査等で発見された文化財の燻蒸や、館藏品の修理を計画的に行ないます。

⑤古文書・歴史資料整理・調査事業

市内に膨大に伝来する資料について、佛教大学・京都府立大学と共同して調査を行い、報告書を刊行します。

## 〔参考Ⅰ〕 大津市歴史博物館の概要

### 1. 博物館の概要

- ・開館日：平成2年10月28日
- ・博物館法の分類：登録博物館（平成8年度より重要文化財公開承認施設）
- ・博物館の運営方針：当館は、大津の豊かな歴史と文化を調査研究し、その成果を常設展示や企画展をはじめとする様々な事業のなかで紹介し、地域への理解と愛着を深めていただくことを目的に博物館活動を重ねています。

### 2. 主な活動

#### ① 展示活動

##### a. 常設展示「大津の歴史と文化」

南北に細長い地理的特質を持ち、各地域ごとに異なった歴史と文化を形成するという大津市の特徴から、地域に焦点を当てた6つのコーナーからなる「テーマ展示」と、大津市全域の歴史を年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成しています。

また、平成11年度から常設展示内の1コーナーを「ミニ企画展」と名づけ、博物館の収蔵品や調査成果を踏まえて、2ヶ月程度を会期に年間7～8回、様々なテーマの小展示を行っています。

##### b. 企画展示

当館には企画展示室A（約500㎡）と企画展示室B（約250㎡）があります。これらの展示室で年間3回程度の企画展を実施しています。

#### ② 資料の調査収集、研究活動

市内を中心に、大津に関係する資料の調査を日常の博物館活動として実施しています。またこうした活動の中で資料の収集を行い、博物館収蔵品の充実と文化財の保護を行うとともに、レファレンス対応の基礎資料としています。こうした活動は開館以来継続して行ってきましたが、令和3年度からは未指定文化財調査事業として様々な目的を設定し、より積極的に取り組んでいます。

#### ③ 普及活動

##### a. れきはく講座

開館当初より「土曜講座」や現地見学会「ふるさと大津歴史教室」を実施してきましたが、現在は「れきはく講座」という名称に統一し、年間30回程度の講座を開催しています。

##### b. 夏休み子どもワークショップ

平成14年度から、成安造形大学と共同で実施しています。

##### c. れきはくカード

1年間有効の定期券で、常設展示、企画展示を観覧いただけるほか、れきはく講座や刊行物の割引等を受けられます。会員数411名（令和8年2月末現在）。

#### ④ その他

##### a. 貸館（企画展示室の利用）

当館が企画展示室を使用していない期間に限り、同室をギャラリーとして利用できるようにしています。大津市美術展覧会や市内小中学校の絵画・書道の展示など、市民の芸術活動の発表の場としてご利用いただいています。

### 3. 過去5年間の主な活動

#### ①利用者数の推移

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
常設展示観覧者数	19,661	20,667	16,019	18,282	19,425	34,997
企画展観覧者数	14,833	11,633	10,298	10,593	9,969	22,675
講座等参加者数	3,968	630	1,500	2,320	2,825	3,146
貸館等観覧者数	34,824	16,645	24,112	26,819	37,433	55,176
ロビー観覧者数	—	—	—	—	2,877	893
<b>総利用者数</b>	<b>73,286</b>	<b>49,575</b>	<b>51,929</b>	<b>58,014</b>	<b>72,529</b>	<b>116,887</b>

#### ②企画展の開催状況

令和 元年度 「大津南部の仏像－旧栗太郡の神仏－」

「大津絵－ヨーロッパの視点から－」

重要文化財「大津百艘船関係資料」指定記念「江戸時代の琵琶湖水運」

令和 2年度 特集展示「明智光秀と戦国時代の大津」

重要文化財指定記念特別展示「金台院蔵「天台三祖師像」と天台の祖師」

開館30周年記念企画展「聖衆来迎寺と盛安寺－明智光秀ゆかりの下阪本の社寺－」

開館30周年記念企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」

令和 3年度 「大津のどうぶつ博物館」

聖徳太子1400年御遠忌・伝教大師1200年御遠忌記念企画展

「西教寺 一大津の天台真盛宗の至宝」

山元春挙生誕150年記念企画展「蘆花浅水荘と山元春挙画塾」

令和 4年度 伝教大師最澄没後1200年記念企画展「仏像をなおす」

壬申の乱1350年記念企画展「大友皇子と壬申の乱」

総合地球環境学研究所共催展「湖都大津の災害史」

令和 5年度 「発掘された大津の歴史」

親鸞聖人生誕850年記念企画展「近江堅田 本福寺」

「写真展 50年前の琵琶湖・堅田－大西艸人がみた自然と営み－」

令和 6年度 特集展示「源氏物語と大津」

「紫式部と祈りの世界」

「京極高次」

JR湖西線開業50周年記念「わたしの湖西線」

「石山寺 一密教と観音の聖地」

#### ③企画展示室利用件数の推移

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
13件	27件	25件	24件	24件